平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） １１８ ※記入不要	提案機関名	ＪＡあしがら

要望問題　新資材導によるキウイ栽培について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

キウイ栽培を増反していく中で新たな生産者を増していく中で従来の資材（棚張）では経費面等において課題があります。
生産者の年齢、経営規模においても５ａ～１０ａでの導入が好ましく、従来とは違った栽培方法（資材等）での導入試験の実施。
３～５ａ程度での果実内容及び栽培管理（剪定等）

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	根府川試験場
部　　署：	
対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）
キウイフルーツの軽作業化栽培試験

対応の内容等
棚栽培法に代わる主幹１本仕立てについて検討しています。今のところ、中国系品種は着果良好ですが、主要品種ヘイワードの着果に問題を残しています。
現在、パイプハウスの骨組みに主幹及び枝を配置する新しい栽培法について検討を始めたところです。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	